



図5 「人間の〈関係性〉」の諸構造

(左上): 無数の「我-汝」の構造を通じて現れた「私」が〈自己存在〉を形成する。(右上): 「中核的他人」との〈関係性〉においては、真の「写像の〈関係性〉」は不可視であり、想像された「写像の〈関係性〉」と「実像の〈関係性〉」の間に「内的緊張」が現れる。(左下): 「間柄」は第一の「内的緊張」を緩和させるが、〈自己存在〉との間には新たな「内的緊張」がもたらされる。(右下): 「距離」によって「間柄」と「我-汝」の構造の割合を調節し、第二の「内的緊張」を緩和させることができるが、相手の望む〈距離〉感覚との間には、またもや新たな「内的緊張」が生じることになる。